

地域広聴会における意見（その 2）

【地域広聴会の実施状況】

区 分	場 所	日 時	出席者	会場発言	アンケート
島前会場	マリンポートホ テル海士	1月26日(土) 13:45～15:15	約70人	7人	34件

島前会場での発言

【道路整備】

県の方で既に青写真をつくってから、本土は加賀、知夫、浦郷、別府、菱、豊田、都万、西郷、布施、五箇、こういったような国道は私も出したことがある。もちろん地元としては協力がしてあるが、私どもの納得できないのは、この法律の設計は、島から島をつなぐと、ところが首長の力関係で浦郷、別府に国道ができておる。それを阻んだ一番大きい問題は、町村合併の問題。もちろんそれ以前には小・中学校の統合の問題。そうしたような青写真を絵にかいたもちのようにして、余りにも私らから見ればいかなものかと、納得のいくような説明をしていただきたい。

多分隠岐汽船の話をされると思う。国道設定の以前に隠岐汽船ですというふうに、一島一港といったようなことを何十年言い続けていた。その結果は出たが、それが現代の文化、産業に寄与しているかいうことは、決定的なものはないと思っている。やはり文化の接点は島と島をつなぐと。環日本海時代を考えれば、また北朝鮮を考えれば、日本の最前線で玄関口である。海底トンネルもいかなものかというようなことを考えている。

【航空路線】

隠岐空港がジェット化して、県なり国がバックアップしているが、力関係で数の論理で隠岐空港は現代化して1時間で東京、大阪の文化の恩恵に浴する。それが島前には何ら恩恵がない。住民の皆さんはあきらめておるのか、私たちとしても、どうしてもあきらめることはできない。もちろん資本主義社会だから数の論理が作動することは十分承知しているが、片方は民主主義であるからには、たとえ弱者でも、少数であっても平等の権利は与えられてしかるべきじゃないかと思う。いまだにジェット化しても島前、島後の空の連絡がないということは大変いかがわしい問題だと思っている。

【教育】

県の指導で小・中学校の統合を私たちは強力にやっている。島前は教育、文化の殿堂として隠岐島前高校ができ、あれから半世紀。当時は2個学級の編成で、しっかり学校経営も成り立っていたが、今は少子化によって学校経営の編成も非常に難しいような現状である。私たち地域の住民としては、インターネットで全国に呼びかけて、いろいろな模索はしているが、何か会合があるたびに、島前高校は廃校になるんじゃないか、そういったいかがわしい、夢も見られないような現状があって、大変残念に思っている。地域の産業の

一環として我々の、島前3町村のよりどころであるので、どうぞ新規の法律を立ち上げて、強力に本校の存続をバックアップしていただきたい。

島根県下の高等学校で登下校できないのは島前高校だけじゃないかと思う。願わくは島前3島から登下校できると、高等学校は義務教育と何ら変わらないような今の社会であるので、その辺もお考えの上、今後、行政の力で何とかお力添えをいただきたいと思う。

【島根の存在意義・役割】

全国レベルの視点に立って、どれだけ県の存在意義が語られているか。内向きな計画だけでは、ちょっと立ち行かないんじゃないか。それで現に島根県の認知度、あるいは地域のイメージ、これは遺憾ながら都道府県の中でワーストワンというようなことが、県債1兆円を残して、結果としてそういうことが出ている。全国、あるいは国境を越えたグローバル化の中で、県自体のそういうイメージアップに取り組まれているか。日々の行政の積み重ねも大事だが、まさに競争の時代に入っているわけで、グローバル化の中での島根県の存在というか、そういう役割が見えてない。

今は地域戦略の時代。今は地域戦略のためのブランド戦略の時代。そういうことがもうちょっと色濃く出ないといかんじゃないか。産業にしても、そういった地域ブランド力を今後いかに形成して島根県が外から外貨を稼ぐか、あるいはまた人を誘致するか、そういうところに迫られていると思う。地域戦略の時代であるというようなものをもうちょっと色濃く出してもらえばどうかなと、そういうイメージを持った。

島根の役割が結果としてどうなるのか、そのことをぜひ優先をして、それがすべての産業なり、財政の問題も含めて、すべてに影響してくるだろうという思いがする。

もう一つ県の皆さんにお願いしたいのは、これだけのものが示されたので、あとはやっぱり溝口知事の指導力と意欲が問われる政策課題であると思うし、ましてやその中で県政発展の下支えをする、そういう役割を職務とする県の職員の自覚と意欲の問題だろうと思う。非常にまじめな計画だと思うが、もうちょっと地域戦略とか、あるいは情報発信能力とか、そういうために島根県の職員に言いたいのは、そういう付加価値を高める人間力の集団であってほしいと思うので、そのことが島根の存在につながっていくという気がする。ここは従来の延長線上じゃないわけなので、ぜひ新しい、そういった島根の付加価値を高めるための皆さんの人間集団であってほしいという思いでいっぱいである。

【教育】

私たちは、離島でやっぱり勉強とかスポーツとか、すごい本土よりも劣っている感じがしている。でも、去年の総文祭できんにやもにやを踊らせてもらって、それで結構島前高もいい評価をもらえて、校長先生を初めとして、すごい補習とかも取り組んでくれて、今頑張っている。最初のページに調和を図りながら総合的な発展を目指す計画とあるが、やっぱり松江と隠岐ですごい差があるのは、私たちとしても悔しい。今頑張っている計画が終わったら、今度私たちがやっていけないといけないので、大学に行くだけじゃなくて、専門学校とか就職する人とかも、しっかり働く人をつくっていきたい。勉強にお金をかけ

た分、自分に将来お金が戻ってくると言っている有名な塾の先生がいる。だから、やっぱり島根県全体に平等に教育にすごいお金をかけてほしい。

【PR】

荒神谷遺跡の宣伝がマスコミで何回も取り上げられた。海士町には当時の銅銚、銅剣があるけれども、数の論理が作動する中で、そういったようなことはやっぱりマスコミにのせていただきたいと思っている。

【交通】

莫大なお金をかけて隠岐空港というものをつくったのはいいが、島前の人が一向に利用ができない状態にある。隠岐に島根県はお金をかけたというが、島前の人間には一銭の恩恵もない。この辺をいかに考えているのか。県が一体となって空港会社と隠岐汽船との連携というものをもう少し、一町村ぐらいの話や隠岐の町村長が話ししたぐらいではなかなか改善できないと思う。離島のこれからの発展というのは、私個人的には観光が主であると。幾ら企業誘致しても距離のハンディ等があってできないと。それを面にするためには、いかに隠岐空港を利用して関西、関東の間人々を呼び込むのか、これが離島に課せられた大きな問題ではないかと思う。

例えばハワイだと、わざわざハワイまで日本人が行って、40分かけてハワイ島で山に登る。その40分というのは、大阪から隠岐に来る時間。こういったことが日本人の観光の中で多くなりつつある現状の中で、島前に来れない状態をつくっている現状をどうしても打破していただきたいと感じている。

【隠岐航路】

産業基盤の維持整備、またそれに関係する観光の振興という中で、道路特定財源の使い方ということで問題になっている。6月の国会審議のときに福田さんが、隠岐航路を言ってみれば道路とみなして、そういう航路維持に考えるべきではないかというような話があったところである。隠岐汽船は、観光も含めて、公共事業が減ったとか、社会状況の中で逼迫した状況。また、その上において、原油燃料の高騰で大変な状況である。そういう中で、幾ら観光の振興だとか交易だとか言っても、地域の活性はもちろんのこと、交流人口あるいは観光を振興していくといっても、絵にかいたもちになってしまう。その辺のところの充実というか、行政がしっかりとした基盤をつくっていかなきゃならんというように感じる場所であるが、その辺のところは一向にうたっていない。その辺のところを考えていただきたいと思う。

【ブランド化】

県としては、しまねブランドとして物をつくりたいのかというところが疑問で、私どもはやっぱり隠岐ブランドということでやっている。隠岐牛に関しても、東京市場でA4、A5の良質の肉だけを隠岐牛と呼ぶようにしている。数をふやすことは大事であるが、それによって品質が落ちたら、それはブランド力としてはなくなる。また、そのブランドそのものも、私たちがしきりにブランドだブランドだと言っているだけではつくられるもの

でもなく、やっぱり買ってもらう人、大消費地の人にしっかり認識してもらうことがブランド化であるので、その点について県の方には技術指導や宣伝活動などに支援をもらいたいと思う。

また、島根という県域の名前自体が明治以降の話で、隠岐、石見、出雲、この名前は、はるか昔から日本に親しんでいる名前で、石見はちょっと弱かったが世界遺産にもなり、石見銀山で全国に名前が通るようになったと思う。出雲はやっぱり島根県というよりも、島根県といえば出雲大社のある、あの出雲のあるところだと。出雲の方が先に来るわけなので、しまねブランドというよりも、隠岐、石見、出雲という昔からある名前の方を積極的に売るのが、戦略、戦術としてはいいと思っている。

【循環型社会】

循環型社会、持続可能な地域の開発が必要だとかいうことに関連して、最近、僕は名古屋の方から来たが、そちらの方と違って、こちらの方で非常に価値が高いと感じているのは、御高齢な方が多いので、里山文化だとか、古くからの日本人の知恵というものがたくさん残っていると思う。持続可能な社会だとか環境、エコだとかというのは、新しい技術を開発するというのも大事だとは思いますが、古くから学ぶという意味においても、まだまだやれることは、町としても県としても、いろんな方面からやる価値があるんじゃないかと思うので、そういう部分の重要視というか、そういう観点からでもお考えいただきたいと思う。